

2025年3月期 第1四半期決算説明会

2024年7月30日
株式会社オリエンタルランド



I. 決算概要

II. クルーズ事業への参入について



I. 決算概要



1. 当四半期実績(前年同期比較)

(億円)

連結損益計算書

	2024/3 第1四半期実績	2025/3 第1四半期実績	増減	増減率
売上高	1,406	1,484	78	5.6%
テーマパーク事業	1,165	1,214	48	4.2%
ホテル事業	203	227	24	12.0%
その他の事業	37	42	5	13.7%
営業利益	386	333	△ 53	△ 13.8%
テーマパーク事業	324	281	△ 42	△ 13.2%
ホテル事業	59	43	△ 16	△ 27.4%
その他の事業	1	6	4	270.6%
経常利益	390	340	△ 49	△ 12.8%
特別利益	-	2	2	-
税金等調整前四半期純利益	390	342	△ 47	△ 12.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	274	244	△ 29	△ 10.9%

主に入園者数の増により増収したものの、各コストの増により減益

1. 当四半期実績(前年同期比較)ー 主な増減要因

(億円)

テーマパーク事業① 	2024/3 第1四半期実績	2025/3 第1四半期実績	増減	増減率
売上高	1,165	1,214	48	4.2%

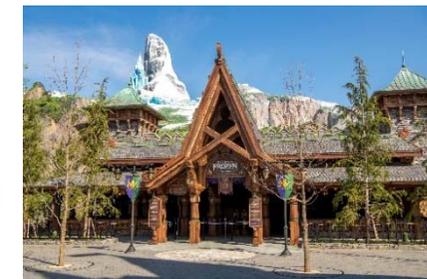
	前年同期比較	主な増減要因
入園者数	上回った	<ul style="list-style-type: none"> ・海外ゲスト数の増 ・ファンタジースプリングス開業による増 ・東京ディズニーリゾート40周年イベントの終了による減
ゲスト1人当たり売上高	若干上回った	
アトラクション・ショー収入	上回った	<ul style="list-style-type: none"> ・変動価格制による高価格帯チケット構成比の増 ・ファンタジースプリングス開業に伴うディズニー・プレミアアクセスの増
商品販売収入	下回った	<ul style="list-style-type: none"> ・東京ディズニーリゾート40周年関連商品の販売終了による減 ・ファンタジースプリングス関連商品の販売による増
飲食販売収入	上回った	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンタジースプリングス開業に伴う新規店舗オープンによる増

ディズニー・プレミアアクセス

ファンタジースプリングスの3つのアトラクションや、東京ディズニーランドのエンターテイメントへの追加により、対前年同期で対象施設が4つ増え、合計14の施設で導入



ディズニー・パルパルーザ「クワッキーセレブレーション
★ Donald・ザ・レジェンド!」©Disney



ファンタジースプリングス内のアトラクション
「アナとエルサのフローズンジャーニー」©Disney

海外ゲスト数やファンタジースプリングスの開業などにより、入園者数が増加



1. 当四半期実績(前年同期比較) – 主な増減要因

(億円)

テーマパーク事業②



	2024/3 第1四半期実績	2025/3 第1四半期実績	増減	増減率
売上高	1,165	1,214	48	4.2%
営業利益	324	281	△ 42	△ 13.2%

営業利益の減

(億円)

売上高の増		諸経費の増	△ 42
商品・飲食原価率の増	△ 6	メンテナンス費の増	△ 8
人件費の増	△ 29	浦安市への消防署所用地譲渡による増	△ 6
準社員人件費の増	△ 13	システム関連費用の増	△ 3
正社員人件費の増	△ 8	エンターテイメント関連費用の増	△ 2
その他	△ 6	その他	△ 21
		減価償却費の増	△ 17
		新規取得資産による増など	

※コストにおける△表示は、営業利益に対する減少影響を示しています。

ファンタジースプリングスの開業などに伴い各コストが増加したことなどから減益

1. 当四半期実績(前年同期比較) – 主な増減要因

(億円)

HOTEL ホテル事業 	2024/3	2025/3	増減	増減率
	第1四半期実績	第1四半期実績		
売上高	203	227	24	12.0%
ディズニーホテル	183	206	23	12.7%
客室稼働率 (%、pt)	98.9	94.2	△ 4.7	
平均客室単価 (円)	49,807	56,603	6,796	13.6%
その他ホテル	20	21	1	5.2%
営業利益	59	43	△ 16	△ 27.4%

売上高の増

- ・ 東京ディズニーシー・ファンタジースプリングスホテル開業などによる宿泊収入の増

営業利益の減

- ・ 人件費の増 (△ 7億円) – 在籍者数の増、賃金改定による増など
- ・ 諸経費の増
- ・ 減価償却費の増 (△ 2億円)



東京ディズニーシー・ファンタジースプリングスホテル ©Disney

※コストにおける△表示は、営業利益に対する減少影響を示しています。

新規ホテルの開業などにより増収したものの、各コストが増加し減益

1. 当四半期実績(前年同期比較) – 主な増減要因

(億円)

その他の事業

	2024/3 第1四半期実績	2025/3 第1四半期実績	増減	増減率
売上高	37	42	5	13.7%
営業利益	1	6	4	270.6%

売上高の増

- 乗降客数の増によるモノレール事業の増



東京ディズニーシー“ファンタジースプリングス”ライナー ©Disney

営業利益の増

- 売上高の増
- 諸経費の減



東京ディズニーシー“ファンタジースプリングス”ライナー 内観 ©Disney

主にモノレール事業の売上高の増加により、増収増益



2. 当四半期実績(業績予想比較) – 主な増減要因

	業績予想比較	主な増減要因
売上高	若干上回った	<ul style="list-style-type: none">・入園者数：若干上回った<ul style="list-style-type: none">– 海外ゲスト数の増・ゲスト1人当たり売上高：ほぼ同様・アトラクション・ショー収入：若干上回った<ul style="list-style-type: none">– 東京ディズニーリゾート・パッケージの増– 株主用パスポートの構成比の減による増・商品販売収入：下回った<ul style="list-style-type: none">– ファンタジースプリングス関連商品の一時的な販売制限による減・飲食販売収入：上回った<ul style="list-style-type: none">– フードスーベニアの好調による増
営業利益	上回った	<ul style="list-style-type: none">・売上高の増・諸経費の減

入園者数の増加や、諸経費の時期ずれなどにより、期初予想を上回った



II. クルーズ事業への参入について

2030年に目指す姿 「あなたと社会に、もっとハピネスを。」

既存事業

テーマパーク事業



ホテル事業



その他事業

- パークをはじめとする東京ディズニーリゾートへ常に新鮮な魅力を提供すべく投資を継続
(例) スペース・マウンテンと周辺環境の一新 など
- 中長期のスパンでの経営計画を策定中
計画の対象期間も含めて検討中

新規事業（新たに収益の柱となる事業）



- 長期持続的な成長のため、新たな収益機会となりうる新規事業として、日本を拠点とするディズニークルーズを展開
 - 既存事業のノウハウを活かして、クルーズ事業においてもディズニーならではの非日常体験を展開し、新たな体験価値を創出
- ※非ディズニー事業についても、「オリエンタルランド・イノベーションズ」にて投資を継続し、事業の探索と創出を図っていく

当社グループの長期持続的な成長のため、新規事業として、
日本を拠点とするクルーズ事業を展開することを決定



クルーズ事業への参入について

ディズニークルーズ 概要

就航予定年	2028年度	投資額	約3,300億円（主に船の建造費、その他開業準備費用や予備費なども含む）				
船籍	日本（予定）	客船	2022年に就航した「ディズニー・ウィッシュ」をベースにした客船				
総トン数	約14万トン	客室数	約1,250室	乗客定員	約4,000人	乗組員	約1,500人
ディズニー社との契約	<ul style="list-style-type: none"> ・日本を拠点とするディズニークルーズの開発および運営に関する権利を有する ・契約期間は、最長で就航から39年間延長可能 ・売上高に応じてロイヤルティー*を支払い 					*為替変動の影響は受けない	
提供サービス（予定）	<ul style="list-style-type: none"> ・船上や船内で繰り広げられるディズニーならではのアクティビティやエンターテイメント ・様々なグレード・タイプの客室や、バリエーションに富んだダイニング ・ホスピタリティ溢れるサービス など 						

【参考】現時点での就航プラン（予定）

- 航路** 首都圏の港を発着する周遊クルーズがメイン
- 航海日数** 2泊～4泊程度の短期航路
- 単価** 10万円台～30万円台*（1航海あたり1名）の幅広い価格帯
- ターゲット** ファミリー、若者層、訪日外国人旅行者

*最も多い客室タイプの価格



「ディズニー・ウィッシュ」の客室 ©Disney

日本籍（予定）では最大規模となる客船にてディズニーならではのサービスを提供し、「ファミリーエンターテイメントクルーズ」という新しいジャンルを確立する



クルーズ事業への参入について

企業価値と業績への貢献



- ディズニークルーズが持つディズニーならではのアクティビティやエンターテイメントなど
- テーマパーク事業やホテル事業の運営で培ったノウハウや人材
- ディズニー社との強固な信頼関係
- 東京ディズニーリゾートの顧客基盤



- 国内クルーズ市場は、今後さらなる成長が見込まれる
- ファミリーや若年層をターゲットとしたクルーズとして、日本のクルーズ市場を開拓する余地がある
- 将来的に複数隻で運営することも想定しているが、まずは1隻目を順調に稼働させることに注力

※ディズニー社がアメリカを拠点に20年以上同事業を展開・成長させてきたノウハウを活用できる点も後押し



マテリアリティへの貢献



従業員の幸福



子どものハピネス



ダイバーシティ & インクルージョン

業績への貢献

- 就航数年後には、年間売上高は約1,000億円、年間乗客数約40万人を見込む
- 就航数年後には、営業利益率はテーマパーク事業並み（20%台）を見込む
- 減価償却費は年間200億円レベルを想定、船舶の法定耐用年数は15年

就航数年後は年間売上高約1,000億円、テーマパーク事業並みの営業利益率を見込む





Appendix



「ディズニー・プレミアアクセス」の対象

パーク内施設等の体験時間や入場時刻を指定して予約できる有料のサービス。少ない待ち時間で施設の利用が可能



コンテンツ	導入日	価格
◆美女と野獣“魔法のものがたり”	2022年 5月19日	¥2,000
◆スプラッシュ・マウンテン	2022年 12月1日	¥1,500
◆ベイマックスのハッピーライド	2022年 12月1日	¥1,500
◇ディズニー・ハーモニー・イン・カラー	2023年 4月15日	¥2,500
◇東京ディズニーランド・ エレクトリカルパレード・ドリームライツ	2023年 4月15日	¥2,500
◇ディズニー・クリスマス・ストーリーズ 終了	2023年 11月8日*1	¥2,500
◇ディズニー・パルパルーザ ミニー@ファンダーランド 終了	2024年 1月10日*2	¥2,500
◇ディズニー・パルパルーザ クワッキーセレブレーション★ドナルド・ザ・レジェンド！ 終了	2024年 4月9日*3	¥2,500
◇Reach for the Stars	2024年 9月20日	¥2,500
◇ザ・ヴァンズ・ハロウィーン“Into the Frenzy”	2024年 10月1日*4	¥2,500

コンテンツ	導入日	価格
◆ソアリン：ファンタスティック・フライト	2022年 5月19日	¥2,000
◆トイ・ストーリー・マニア！	2022年 6月10日	¥2,000
◇ビリーヴ！～シー・オブ・ドリームス～	2022年 11月11日	¥2,500
◆タワー・オブ・テラー	2022年 12月9日	¥1,500
◆センター・オブ・ジ・アース	2022年 12月9日	¥1,500
◆アナとエルサのフローズンジャーニー	2024年 6月6日	¥2,000
◆ラプンツェルのランタンフェスティバル	2024年 6月6日	¥2,000
◆ピーターパンの ネバーランドアドベンチャー	2024年 6月6日	¥2,000

◆：アトラクション ◇：エンターテイメント

※2024年7月30日時点で公表しているものを記載しています。

*1 2023年11月8日～12月25日の間、対象でした。

*2 2024年1月10日～3月19日の間、対象でした。

*3 2024年4月9日～6月30日の間、対象でした。

*4 2024年10月1日～11月7日の間、対象です。



「東京ディズニーリゾート40周年記念プライオリティパス」の対象

指定された時間に短い待ち時間で施設をご利用いただける無料のサービス

**東京ディズニーリゾート40周年イベント終了後の2024年4月1日以降もご利用いただけます。
終了日は、決まり次第お知らせします。**



スター・ツアーズ：ザ・アドベンチャーズ・コンティニュー

アクアトピア“びしょ濡れ”バージョン*3

スペース・マウンテン*1

インディ・ジョーンズ®・アドベンチャー：クリスタルスカルの魔宮

バズ・ライトイヤーのアストロブラスター*2

海底2万マイル

ビッグサンダー・マウンテン

タートル・トーク

プーさんのハニーハント

ニモ&フレンズ・シーライダー

ホーンテッドマンション

マジックランプシアター

モンスターズ・インク“ライド&ゴーシーク！”

レイジングスピリッツ

※2024年7月30日時点で公表しているものを記載しています。

*1 スペース・マウンテンは2024年7月31日をもってクローズします。

*2 バズ・ライトイヤーのアストロブラスターは2024年10月31日をもってクローズします。

*3 アクアトピアについては、夏のびしょ濡れプログラム期間限定で対象です。(2024年7月2日～9月18日)



2025年3月期 テーマパークイベント・新規アトラクションカレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
東京 ディズニー ランド	4/9~6/30 NEW	「ディズニー・パルパルーザ」第2弾 ★「ドナルドのクワッキー・タックシティ」		9/20 NEW ◆キャッスルプロジェクション「Reach for the Stars」▶		
	4/9~7/31 NEW	★「セレブレーション・スペース・マウンテン：ザ・ファイナルイグニッション！」				
				7/2~9/18	★スプラッシュ・マウンテン“びしょ濡れMAX”	
				7/2~9/18	★ベイマックスのミッション・クールダウン	
				7/2~9/18	★“びしょ濡れ”トウーンタウン	
			7/2~10/31 NEW	★「バズ・ライトイヤーのアストロブラスター “コンプリート・ザ・ミッション！”」		
東京 ディズニー シー	4/1~6/30 NEW	★「東京ディズニーシー・フード&ワイン・フェスティバル」				
	1/9 ~ 4/7	▶ 6/6 NEW ファンタジースプリングス グランドオープン ◆アナとエルサのフローズンジャーニー ◆ラプンツェルのランタンフェスティバル ◆ピーターパンのネバーランドアドベンチャー ◆フェアリー・ティンカーベルのビジーバギー				
	4/9~6/30 NEW	★「ドリーミング・オブ・ファンタジースプリングス」				
	◀「タワー・オブ・テラー」のバージョン変更					
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東京 ディズニー ランド	10/1~ 11/7	★「ディズニー・ハロウィーン」	11/15~ 12/25	★「ディズニー・クリスマス」	1/1 ~ 1/13	★お正月の スペシャルイベント
	7/2~10/31 NEW	◀★「バズ・ライトイヤーのアストロブラスター “コンプリート・ザ・ミッション！”」		1/15~3/16 NEW	★「ディズニー・パルパルーザ」第3弾	
				第4四半期中~	イツ・ア・スモールワールド with グルート	
東京 ディズニー シー	10/1~ 11/7	★「ディズニー・ハロウィーン」	11/15~ 12/25	★「ディズニー・クリスマス」	1/1 ~ 1/13	★お正月の スペシャルイベント

★：スペシャルイベント・プログラム ◆：新規アトラクション・ショーなど

※イベントの名称、開催期間および内容は変更になる場合があります。
※2024年7月30日時点で公表しているものを記載しています。



2024年3月期 テーマパークイベント・新規アトラクションカレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
東京ディズニーランド	2023/4/15~2024/3/31 NEW			★「東京ディズニーリゾート40周年“ドリームゴーラウンド”」		
				7/4~9/6	★スプラッシュ・マウンテン“びしょ濡れMAX”	
				7/4~9/6 NEW	★ベイマックスのミッション・クールダウン	
				7/4~9/6 NEW	★“びしょ濡れ”トーンタウン	
東京ディズニーシー	2023/4/15~2024/3/31 NEW			★「東京ディズニーリゾート40周年“ドリームゴーラウンド”」		
				7/4~9/6	★【びしょ濡れアトラクション】アクアトピア	
				9/15~10/31 ★「ディズニー・ハロウィーン」		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東京ディズニーランド	2023/4/15~2024/3/31 NEW			★「東京ディズニーリゾート40周年“ドリームゴーラウンド”」		
	9/15~10/31	★「ディズニー・ハロウィーン」		11/8~12/25	★「ディズニー・クリスマス」	
				1/1~1/8	★お正月のスペシャルイベント	
				1/10~3/19 NEW	「ディズニー・パルパルーザ」第1弾 ★「ミニーのファンダーランド」	
東京ディズニーシー	2023/4/15~2024/3/31 NEW			★「東京ディズニーリゾート40周年“ドリームゴーラウンド”」		
	9/15~10/31	★「ディズニー・ハロウィーン」		11/8~12/25	★「ディズニー・クリスマス」	
				1/1~1/8	★お正月のスペシャルイベント	
				1/9~4/7	「タワー・オブ・テラー」のバージョン変更	

★ : スペシャルイベント・プログラム ◆ : 新規アトラクション・ショーなど



連結貸借対照表（当四半期末/前期末）

連結貸借対照表	(億円)		
	前期末	当四半期末	増減
A.資産の部			
流動資産	4,522	4,226	△ 295
固定資産	9,029	8,922	△ 107
資産合計	13,552	13,149	△ 403
B.負債の部			
流動負債	2,469	2,017	△ 452
固定負債	1,586	1,573	△ 12
負債合計	4,056	3,591	△ 465
C.純資産の部			
株主資本	9,212	9,328	116
その他の包括利益累計額	283	229	△ 54
純資産合計	9,495	9,557	61
負債純資産合計	13,552	13,149	△ 403

【A. 資産の部 403億円の減（3.0%減）】

I. 流動資産 295億円の減

(1) 有価証券の減	△ 499 億円
(2) 現金及び預金の増	146 億円
(3) 棚卸資産の増	34 億円

II. 固定資産 107億円の減

(1) 建設仮勘定の減	△ 2,585 億円
(2) 建物及び構築物の増	1,840 億円
(3) 機械装置及び運搬具の増	540 億円

【B. 負債の部 465億円の減（11.5%減）】

I. 流動負債 452億円の減

(1) 未払法人税等の減	△ 281 億円
(2) 支払手形及び買掛金の減	△ 61 億円

II. 固定負債 12億円の減

(1) その他（繰延税金負債）の減	△ 10 億円
-------------------	---------

【C. 純資産の部 61億円の増（0.7%増）】

(1) 親会社株主に帰属する四半期純利益による増	244 億円
(2) 配当による減	△ 131 億円



株式会社オリエンタルランド 経理部IRグループ

047-305-2035 www.olc.co.jp

注意事項：

本資料は、OLCグループの業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料にて開示されているデータは、発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。当社グループの事業は、顧客嗜好・社会情勢・経済情勢等の影響を受けやすい特性を持っているため、本資料で述べられている予測や見通しには、不確実性が含まれていることをご承知おきください。

テーマパーク入園者数については単位未満を四捨五入、財務データについては単位未満を切り捨てて記載しています。
本資料の転載はご遠慮ください。